学校番号	１０１２

令和８年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「i 版　生物基礎」　（啓林館）						
副教材等	「サンダイヤル 生物基礎の基本マスター　新訂版」　（啓林館）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日常生活や社会との関連を図りながら生物や生命現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行いましょう。また、生物学的に探究する能力と態度を身に付け、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養いましょう。毎授業のふりかえり、グループワークや発表活動を通して、自分の意見に対してなぜそう思ったのかを考える力、それを言葉で伝える力も身に付けていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識・技能】
・生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を身に付ける。
・目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する技能を身につける。
【思考・判断・表現】
・自分の意見を科学的な根拠を持って伝えることができる。
【主体的に学習に取り組む態度】
・日常生活や社会との関連を図りながら、他の生徒との話し合いなどを通して生物や生物現象への関心を高める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。また、生物や生物現象に関する観察、実験にかかわる基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。また、自分の意見に対して科学的な根拠を持って伝えることができる。	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1部 生物の特徴	1章 生物の共通性と多様性 1節 多様な生物のもつ共通性 2節 生物共通の単位細胞 3節 細胞の構造の共通性と多様性 4節 生物の構造の共通性と多様性 2章 細胞とエネルギー 1節 生命活動とエネルギー 2節 光合成と呼吸 3節 葉緑体とミトコンドリアの起源	a: ・植物細胞と動物細胞、原核細胞と真核細胞それぞれの特徴を理解できたか。 ・代謝とエネルギーの関係を理解し、ATP のはたらきについて理解できたか。 ・顕微鏡を正しく操作することができたか。また、プレパラートをうまく作成することができたか。 b: ・多様性の中にある共通性について考察できたか。 c: ・ グループ討論に積極的に参加し、地球上には様々な生物がいることに興味関心を持てたか。 ・多様性と共通性という２つの視点が生物を学習する上で、重要であると気付けたか。	単元テスト 観察 実験	発表 レポート	学習状況 ノート プリント
2学期	第2部 遺伝子とその働き	1章 遺伝情報と DNA 1節 DNA の構造 2節 遺伝子とゲノム 2章 遺伝情報の分配 1節 遺伝情報の複製 2節 遺伝情報の分配 3章 遺伝情報とタンパク質の合成 1節 遺伝情報と RNA 2節 遺伝情報の発現とタンパク質の合成	a: ・DNA の構造の特徴を理解できたか。 ・タンパク質合成の流れについて理解できたか。 ・実際に DNA の模型を作成し、その模型を観察することで DNA の構造の特徴に気づき、それを記録できたか。 b: ・DNA の構造を学ぶことで，塩基配列が遺伝情報を担える理由を考察できたか。 c: ・日常生活の中で取り上げられる遺伝子についての話題に興味を持てたか。	単元テスト 観察 実験	発表 レポート	学習状況 ノート プリント

	第3部　生物の体内環境の維持	1章 1節　体内環境と恒常性 2節　体内環境を調節する器官 2章 1節　自律神経系による調節 2節　ホルモンによる調節 3節　自律神経系と内分泌系による共同作業	a: 恒常性の探究活動を行うことで、恒常性の効果やその現象の意味について理解できたか。 b: ・私たちの身体で日常的に起こる現象について、科学的な根拠をもとに説明することができたか。 ・自律神経系による調節とホルモン系による調節の特徴をまとめ、その違いについて考えられたか。 c: ・恒常性のしくみやその役割について興味を持てたか。 ・日常生活の中で自律神経系が働いていることを意識することができるようになったか。	単元テスト 観察 実験	発表 レポート	学習状況 ノート プリント
3学期		3章 1節　免疫システム 2節　免疫とヒト				
	第4部　生物の多様性と生態系	1章 1節　生態系 3章 1節　生態系でのエネルギーの流れ 2節　生態系での物質循環 3節　生態系のバランス 4節　生物多様性の保全 地球規模の環境問題についての探究活動	a: ・ヒトの生命活動は大きな影響力を持っていることを具体的な事例をもとに理解できたか。 ・生態系を保全する試みについて，その具体例を知ることができたか。 b: ・地球規模の環境問題について，文献や資料を用いて具体的に考察できたか。 ・ヒトを含めた地球上のあらゆる生物は、非生物的環境と相互に影響を及ぼしあいながら生態系を形成している事例について、科学的な根拠を含めて発表できたか。 c: ・私たちを取り巻く環境について関心を持ち，環境に関する新聞記事やニュースに興味を持つようになったか。	単元テスト 観察 実験	発表 レポート	学習状況 ノート プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度